



### 風とロックと好き好きロンちゃん続き

# 「これはもう本当になんか一言で言い表せない味がその店」とあるんだな」



松：白河ラーメンというイメージがなんかその、いろんな食べたらっしゃる方も食べてない方もわりとそのあつさり、あつさりな醤油ラーメンっていう印象を持たれている方がひよっとしたら多いのかなって思っています。でも、この100軒食べていると白河ラーメンの奥深さを味わせてもらった時に、いやこれは違うぞと。例えばその、ラーメン全般の中であつさりの部類に入るのかもしれないけど、その中でもいろいろな



松田の長い話をセクシーポーズで聞くロンちゃん

出汁の味であつたり、醤油の味であつたり、まろやかさ、脂身そしてなんというんですかね、そのスープが本当にこう、水のように飲めるようなその透き通った感じというか、優しさみたいなものがまず白河ラーメンにはあつたんだなっていうことに、僕はちよっと気付かされて、で、それを自分なりになでかかと思つて、いろいろ想像を膨らませていったらやっぱ、この土地に流れている水がスープにも麺にも、麺も水だと思つたので、当たり前ですけど、それがしつかりと味になって伝わってきたんだなっていうのを、自分がその100軒回つて感じたところなので。どのお店にもそのラーメンの美味しさがあつて、まあもちろん自分の好みとしては、菌ごたえある麺の方がいいなとかちよつ

### 思いがすごい溢れてね

か、人生というか、どうやってその味が作られたかみたいなところも、ちよっとだけ全部は聞けなかったですけど、ちよっとだけお話を聞かせてもらったりすると、ああこれはもう本当になんか一言で言い表せない味がその店ごとにあるんだな、かつ、それはひよっとしたら白河ラーメンというものを意識しながら生まれた味でもあつたり、白河ラーメンというものの自体も知らずに代々と流れてきたものをこう受け継いでやっ

### ロンちゃん的 白河ラーメンとは

松：ははははは(笑)。松：思つたけど、世界中のラーメン屋さんのあり方が白河にひとつね、凝縮されているのかなとも思つたわけよ。松：あの、縮れ麺で手打ちが多くて、で、鶏ガラが基本多いです。で、醤油で。松：縮れ麺、鶏ガラ、醤油。うん。松：それから具材はチャーシュー、それからシナチクもほほ多いですね。で、まあほうれん草と

ロンちゃんがどういふふう、いやいやそうじゃなくてここが抜けてんじゃないのとか、わかるわかるなのか、ちよつと聞いてみたいなど。

### チャーシューがで、やっぱり焼き豚だよ

松：全くその通りだけど、まああのあれだよ、チャーシューがで、やっぱり焼き豚だよ。松：「こういふ、短くわかりやすく言つてほしい。」松：着豚じゃないんだよ。松：チャーシューが煮豚じゃなく、焼豚だ。松：ちゃんと焼いてる豚で。松：歯応えがあるんですよ。松：ちよつとその、スモーカーな感じがするね。松：使えー使えー！松：使いたい。(メモを取るポーズをする)

### 手打ちのちよつと太めの縮れ麺だね

松：多いですよ。で、やっぱりあともう、マツが言ったように鶏がすくメインで、なんか醤油が結構キリッとしてる感じが多いよね。それが僕結構特徴かなと思つね。松：そうすね。ねー麺もやっぱ。松：手打ちのちよつと太めの縮れ麺だね。そう。スープを。松：ロンちゃんの話は食べてみたいと思つね。松：スープに絡むんですよ。松：なんかその麺の種類も結構すごい細麺なのに、コシがある



「醤油が結構キリッとしてる感じが多いよね」

松：それは本当ですよ。そうですね、あれは独特ですね。白河ラーメンしかない食材と、何か具材のひとつですね。

松：あつたり、醤油の味であつたり、まろやかさ、脂身そしてなんというんですかね、そのスープが本当にこう、水のように飲めるようなその透き通った感じというか、優しさみたいなものがまず白河ラーメンにはあつたんだなっていうことに、僕はちよっと気付かされて、で、それを自分なりになでかかと思つて、いろいろ想像を膨らませていったらやっぱ、この土地に流れている水がスープにも麺にも、麺も水だと思つたので、当たり前ですけど、それがしつかりと味になって伝わってきたんだなっていうのを、自分がその100軒回つて感じたところなので。どのお店にもそのラーメンの美味しさがあつて、まあもちろん自分の好みとしては、菌ごたえある麺の方がいいなとかちよつ

松：じゃあ白河ラーメンは鶏出汁だから、あえてそこにその豚が混ざらないようにしている可能性があるんですよ。松：あ、その可能性はあるね。そうだね。松：それは面白い話だね。松：やっぱりほら、さっきも言ったけど、水が綺麗だから、そのきれいな水表現するのは豚よりも鶏だったのかもじゃないよね。そんな気はちよつとします。松：世の中は煮豚の方が多いと思つています。松：ふうん。松：ああ。松：豚を煮ることによって、その煮た豚からもほらエキス出るから、それもスープの出汁になったりする。松：なるほど。松：だから結構、チャーシューがなんか普通のラーメンなのに、いつぱいチャーシュー乗ってるなつてお店は実はその肉の出汁もね、スープに使つたりとか、そういうことが多いかなみたいな。松：じゃあ白河ラーメンは鶏出汁だから、あえてそこにその豚が混ざらないようにしている可能性があるんですよ。松：あ、その可能性はあるね。そうだね。松：それは面白い話だね。松：やっぱりほら、さっきも言ったけど、水が綺麗だから、そのきれいな水表現するのは豚よりも鶏だったのかもじゃないよね。そんな気はちよつとします。松：世の中は煮豚の方が多いと思つています。松：ふうん。松：ああ。松：豚を煮ることによって、その煮た豚からもほらエキス出るから、それもスープの出汁になったりする。松：なるほど。松：だから結構、チャーシューがなんか普通のラーメンなのに、いつぱいチャーシュー乗ってるなつてお店は実はその肉の出汁もね、スープに使つたりとか、そういうことが多いかなみたいな。松：じゃあ白河ラーメンは鶏出汁だから、あえてそこにその豚が混ざらないようにしている可能性があるんですよ。松：あ、その可能性はあるね。そうだね。松：それは面白い話だね。松：やっぱりほら、さっきも言ったけど、水が綺麗だから、そのきれいな水表現するのは豚よりも鶏だったのかもじゃないよね。そんな気はちよつとします。松：世の中は煮豚の方が多いと思つています。松：ふうん。松：ああ。松：豚を煮ることによって、その煮た豚からもほらエキス出るから、それもスープの出汁になったりする。松：なるほど。松：だから結構、チャーシューがなんか普通のラーメンなのに、いつぱいチャーシュー乗ってるなつてお店は実はその肉の出汁もね、スープに使つたりとか、そういうことが多いかなみたいな。



使わせていただけようかなと思えます、ここは。ですので、ちよつとまず半分を、半分を使うということ、分量が難しいので、これ最初にね、このヤマボシ醤油をちよつともう実はこの中に、井に入れる。入れるでございませう。

松：ふーん。

松：これもうちよつちに。はい。こつちはこつちで、ちよつと今沸騰するまで。

松：俺ら腹減ってるから最初に食うのは、そういうのはちよつと有利かもしれないね。

**鶏油です**

松：はい、これなんです。実はちよつと。

松：何何何？

松：僕が白河ラーメンやっぱ大事で、さっきロンちゃんも言ってくれた。

松：鶏油だ。

松：鶏油です。

松：黄色いね。

松：これでちよつと、ほんとには汁がたっぷり取ればいいんですけど、それがないので。

松：鶏油高いんだよなあ、でも松：ちよつとこれね、油でちよつと。

松：3分に入りましたので、これで6分まで茹でます。

松：そうだね。今3分ちよつとから始まります。

松：で、このスープもこれと一緒に入れちゃいます。本来は2袋入れるって書いてあるんですけど、今回は半分だけなので。

松：あ、もう入れちゃうの？

松：もう入れますよ。これ一緒にです。

松：最初から、へえ。煮込むみたいだね。

松：かつ、これさらにもうちよつと鶏を強調できないかというところで、これ。「鶏丸」がらスープをカメラに見せる。松：てか、すげーしよっぱいになるんじゃないの？大丈夫？最後(笑)。

松：たしかにね。

松：(笑)

松：血圧上がったぞ。

松：漬物に醤油かけるみてえな感じになっちゃうけど。まあまあ。

松：やってみっぺ。やってみっぺ。

松：いやみんなあの、疲れてつから、しよっぱえぐらいのほうがいい。

松：つかつちいからな。

松：わあ、いいねこれ。

松：(笑)

松：いいね。あ、いい匂いしてきた。ちよつとやっぱなんです。かね、イメージ的にはこの袋ラーメンの醤油よりも、もうちよつと醤油感と鶏感を感じてほしいという気持ちで今動いてますので。それが強すぎた時には白河ラーメンにそういうお店もあるよなつていう感覚で。

**サッポロ一番が白河一番になるってハジメ**

松：まあだからサッポロ一番が白河一番になるってことね。短く言つと。

松：そつじつに、はい。

松：(笑)

松：なんで短く言つんすか全部(笑)。短く言いますよね。

松：15秒の世界で生きてるので、その癖なんだよね。ごめんね。

松：5分とか。

松：そうそうそう。その違いだらうね。

松：THE BACK HORN、長めの6分とかやってるん



鶏油多め ヤマボシ醤油をちよつと入れる 水を1リットル入れました

松：あ、なんかいい匂いしてる。風に乗つてこの醤油が。

松：ほんとだ。

松：これはすねしかもね、わりと僕は、多めに、多めに入れてさせていただきます。

松：鶏油多め。

松：鶏油多めです、もう。もつともいいのかな？もう。

松：(外から聞こえてきた音楽に反応して)これ郡山市民の歌かな。違うか。

松：ちよつとすいませんね、これ沸くまで。今これ麺は2袋なので、あとこれ(サッポロ一番の粉末スープ)は半分だけ使うので、今日は2人前つてことで、1袋使いますね。で、他はこつちの醤油でカバーできるんじゃないかということ。

松：元々のちよつと入れるんですね。

松：本当のも。やっぱこれ改造しちゃうとちよつとサッポロ一同。(笑)

松：(スタッフから新しいサッポロ一番を受け取る)だからこちらにちよつとその味を使わないつていうのはないのかなと思つてたんで。

松：ああなんかでも美味しそう



「あ、いい匂いしてきた」

松：(ゴム手袋をした手でサッポロ一番を再度落としかける)これが滑るんですね。ごめんなさい。一応こつちの水は、これ(サッポロ一番の作り方)に書いてあるのと同じ分量で、えつと入れておきます。

松：1リットルですね。

松：1リットル。500、500の。僕はこの作り方で、いこうかなと思つておきます。

松：(スマホを見ながら)「松田さん落ち着いて」つてウニコさんから来てます。

松：いやもう本当、俺のたぶん沈黙恐怖症のあれですよ。もうダメなところが。

松：あと「お醤油のラベルを正面から見せてください」と。

松：みんなちよつとあれですよ、指摘厳しいですね。

松：(笑)。厳しいんじゃない。みんな期待してるからね。

松：見たいね、これね。で、これ実はもしこのサッポロ一番が、塩だつたら、ちよつと別のまた食べ方があつたんですよ。

松：ふーん！

松：今日は作れないから先に言つちゃうとあれなんですけど。わかめを乾燥わかめ

松：はい。そして、麺からいかなくちやいけねえつうのは難しいんだよな。まあいいや。

**あとでレシピ公開してください**

松：「後でレシピ公開してください」つてなってる。後でレシピ公開してください。Twitterに上げましょう。

松：混ぜちゃえば。

松：うわあ、でも美味そう。

松：これはだから、ヤマボシ醤油はもうネットで買えばいいですか？

松：ネットで。

松：ネットで。はい。

松：みんなどういう気持ちで見てんしょうね。このスタッフの15人ぐらいいる方々。

松：ね。みんな半笑みみたいな感じで見てる。

松：いや俺は食いつちくねえなつて思つてんのか。

一同：(笑)

**俺の藤井くんのイメージ**

松：藤井くんはラーメン好きなの？

松：大好き。

松：(カメラに向けて)これじゃ

松：大量に入れるのと、あと胡麻を、胡麻も、すり胡麻と煎り胡麻を両方もう結構大量に入れるのと、で、最後にごま油をなんかひくと回しぐらいやると、塩ラーメンがすごいなんか胡麻わかめラーメンみたいな感じになつて、個人的にすごく好きで。

松：美味しそう。

松：それは美味しいんですけど、今日は醤油なんです。

松：それやると違うことになるから笑。あ、沸きました。沸いてきましたよ。はいはい。沸きましたので、じゃあえつと麺はですね、3分茹でるつていうので、タイマー。はい、

松：うん。

松：ちよつとあれだもんね、(藤子不二雄のマンガの)小池さんみたいな感じだもんね。

松：藤井くんね。俺の藤井くんのイメージは松本零士さんの「男おいどん」とかね。「銀河鉄道999」とか。

松：昭和の漫画感ありますね。

松：そうそうそう。

松：これちよつと1個、麺のバランスがあるんで。3人にあるつてんでもいいですか？

松：なんですか？

松：いや、上手くできてたやつ3人につていうのでいいですか？

松：うん。

**ちよつとだけねぎ油**

松：自分のは、あのあれです。あ、やべえ、そうか、ねぎはないのか。ねぎはないですね。あ、ありますか？

松：今からねぎじゃ間に合わない。大丈夫なの？(笑)

松：じゃあ最後これ、ちよつとだけ、ねぎ油。

松：ねぎ油。あつちに見せて。あつち。

松：(カメラに向けて)これじゃ



お醤油のラベルを正面から見せてください

あ最後これちょっとだけ。  
松：あるある。切ったのある。  
松：ちょっと。  
松：ねぎ油。  
松：ねぎ油足します。  
松：でも食べたいね。  
松：そして、ええもうこれ伸びてるな、これ2分でよかったな。  
(刻みねぎを入れる)  
松：結構入るね。  
松：ちよつとねぎは多めに強めに。  
松：ロンちゃん、ラーメンにとつて、ねぎってどうい存在なんでしょうか。

### ロンちゃん、ラーメンにちよつとねぎってどうい存在??

松：ねぎは、あのなんだろう、なんか一応ね脇役っぽい感じだと思っんですけど、ただ世の中、ねぎすごい好きな人多いので、人によつてたぶん役割が違うと思っんですよ。ねぎ抜きでね、頼む人もいるじゃないですか。でも僕はねぎがあると食感変わってくるんで、そこは好きっすね。  
(松田がロンちゃんから順番に丼を渡す)  
松：ありがどうございませす。

松：食感なんですネ。  
松：これはね、来たと思います。ついに。

### 食べてほしいのかな?

松：来た。  
松：松田晋一、白河ラーメンを越えてたらすみません。逆に。  
松：はははははは(笑)。  
松：白河ラーメンを超えている可能性もあるかもしれないませす。  
松：食べてほしいのかな?  
松：どうぞ。

松：口数少なく食べましよう。  
松：一回、まずちよつと混ぜて。下の醤油がうまく、ヤマボシさんが。  
松：ああなるほどね。  
松：あー酸味を感じるね、醤油が、結構酸味が強い醤油なのね。  
松：そつじうことか。  
松：美味しい。  
松：思ったよりしょっぱくなくつた。

松：本当だね。思ったりしよっぱくないね。鶏油がそうい上手く役割を果たしてる。  
松：なるほどね。こつじう味だ。  
松：いける。美味いすね。  
松：たしかに、この酸味、鶏油かな?結構パンチありますね、



口数少なく食べましよう

このヤマボシ醤油は。  
松：酸味がちよつとやつは、食欲を掻き立てる、そうい感じがする。なんかほら鶏油でさ、ちよつとこつてりするから、そこが力強いんだけど、醤油の酸味でスツとこつ。  
松：は、は、ありがどうございませす。たしかに、びつくりした、このヤマボシ醤油の酸味の。  
松：なんかいいね。うん。  
松：うん、たしかにな。なるほど、そうか。俺が思つてた以上にちよつとよく表現されてるかもしれないです。ただこれ単体で食べるよりも白河ラーメンのイメージには、あのちよつと近づけたかなつて感じはありますね。

### サツポロ一番よりキリツとするよね

松：なんかサツポロ一番よりはキリツとするよね。  
松：かと思ひます。たぶんこれ入れないとちよつと薄めというか。ちよつとほんやりする感じも。  
松：出汁感を出さないといけなもんね。  
松：ああそつか。  
松：出汁は今回鶏ガラしかなかつたので。鶏ガラと醤油だけだつたんで、ちよつと、ピシつとした感じがしないかなあつて。  
松：いい。いい。  
松：一応変化球としては、このニンニクチューブとあと生姜チューブも持つてきてはいたんですけど。まあでもたぶんこのままでこれは食べたほうがいいかなつていのも、ありつづ。  
松：はい。  
松：うん、いや、結構だんだんクセになつてくる。

松：(笑)  
松：そうそう。ほんと美味しかった。飲みたくなる。  
松：いや良かった。順番逆にしてくれて良かったです、これ。  
松：美味しいです。  
松：ありがどうございませす。  
松：このカットねぎ使つたけど、このねぎがすぐ合うスープだね。  
松：これは、そうすね。普通に売つてるあれなんで。あと白河ラーメンのお店だと、これを下のスープに最初のタレの段階で入れちゃつて。スープに溶け込ませるお店も結構ありました。  
松：そうなんだ。  
松：シヤキシヤキ感も残さずにスープに混ぜちゃつう。  
松：先にねぎ入れて。  
松：そうそうそう。それが結構多くて。  
松：結構これ見てらつしやる方もみんなもうラーメン食べなくなつちやつて。ラーメン食べてませすね。  
松：食べてませすか。  
松：そしてお昼休みに世の中突入して、723人。  
松：じゃあその流れで、バトンタッチしますか?じゃあこ

ですネ。  
松：おー!  
松：納豆かい。  
松：納豆いきますか!すごい。そばに納豆とかつていらいメージありましたけど。  
松：ラーメンに納豆つて、食べたことない。  
松：ないですネ。  
松：たまにあるけどね。  
松：たまにあります?ちよつと僕が興味あるのは、その納豆がどうい状態で入るのか、たぶん今から調理すると思っうんですけど。  
松：あ、そうだ。  
松：それつてもうそこだけあつたお店なんですか?  
松：(エプロンをしながら)なんか調べたところだと、そこにか。所沢と狭山にあつたの。松：マイエプロンがあるんだ。  
松：(笑)  
松：可愛い。可愛いけど書いてあるけど、結構すごいこと書いてあるんですすけど。  
松：(笑)  
松：柳家陸先輩のつくるのは、はい。(湯を沸かす)で、すね、納豆



「すげー衝撃。えー!あれー!?みたいない」

### ロンちゃん、ちよつと醤油と納豆

松：元々モチーフがあるんです。  
松：へえー!このままいけるの?  
松：ロンちゃん。いけます?  
松：はい。そう、埼玉の狭山に、たぶんもう今ないんですすけど、「山茂登」っていうラーメン屋があつて。その「山茂登」のラーメンをモチーフにして、やつてみます。お湯はね、松田と一緒に、正しい量ですね。1袋500なんで、1リットルを使おうと思ひます。

松：狭山っていうともう、わりと関越道で新潟に向かう途中のあたりですよな?東京でいくと。  
松：そうすね。そこからちよつ

### 納豆がよい

松：納豆を、基本その1人前に1パックが良いと思っうので。まあハーフなんで半分ずつ出てきますね。で、タレも取つてる、はい。  
松：面白いなあ。  
松：納豆。  
松：みんな納豆大丈夫ですか?嫌じゃないですか?  
松：大好き。しかも上のあれ(フィラム)の抜き方うまいね。  
松：(笑)  
松：上蓋セロファンつていいうか。  
松：あ、そうか、そうするとつか

ないんだ。  
松：半分すつね。  
松：あ、牛乳屋食堂方式だ。  
松：どういこと?  
松：だつて下に入つてるじゃん。混ぜてないじゃん。  
松：混ぜてない。そのまま入れるんだ。なるほど。  
松：へえー。  
松：なんかやつぱあれなのかな。ちよつとこれ想像ですすけど、まだネバネバ感は出さないのでなあ。  
松：ネバネバ感ね。まあでも結局スープで薄まるから。で、一応これ混ぜませす。  
松：さつきのロンちゃんのねぎの話じゃないけど、その食材に何を担わせるかといつか。なんの役割を果たさせるかといふことだつたつね。納豆がどうい機能を持つつんでしょつつかね、こつで。  
松：面白い。  
松：これはね、味です。  
松：食感とかではなく味なんですネ。  
松：だつてさ、スープで本当は納豆なんか沈んでたらすげー食いつらいですもんね。  
松：そういう感じありますね。  
松：コーンより食いつらいよね。

### 生卵入れます

松：今日はちよつとそれないんだよね、すみませんでえつと、ここに生卵入れます。  
松：おあー!  
松：生卵も本当は1袋に対して1個なんだけど、今日はハーフなんで、ええと2つで4杯分ね、にしますね。  
松：結構わりとラーメン入る段階では、あの生感というか、パンチが強い感じがね、今のところしますすけど。  
松：そうすね。  
松：どのご家庭にもあるおいしいものを使つて。  
松：あ、あ、あ、変なもの使わない。  
松：ヤマボシ醤油に鶏油にねぎ油ですすからね(笑)  
松：上手い。(卵を溶く)ロンちゃんを見て)  
松：これを4分割します。  
松：あ、これだけでも結構。でもこれだけだつたらわかるんだけど、それにラーメンつていふのが。  
松：美味しいよね、納豆と卵混ぜるの。それだけで。

松：まあそうすね。  
松：たしかに、穴空いたレンゲはしくなるね、シルバーの。  
松：(笑)  
松：(笑)



# 対決の時代じゃないから

2つとも  
美味しかったよ

だなんていうのは、ものすごくロンちゃんので味わわせてもらいました。

松：あとはやっぱりロンちゃんの足というか経験というか、その「山茂登」ってところ知ってたってことも大きいですね。

松：全然ベクトルが違うからね。なんかほら、ちゃんとラーメンを作ろうとしているのと、俺はほらもう完全に飛び道具なんで。あんまり比較するもんじゃないよね。

松：とは言え、これラーメンだよ。松：まあそうすかね。対決というよりも。

松：うんそうね。

松：2つの味を表現したという。

松：対決の時代じゃないから。

松：素敵。

松：参加することに意義があるという、原点に戻って。

松：トライしてみることに。

松：2つとも美味しかったよ。

松：美味しかったよ。

松：僕は完全にやっぱりヤマボシ醤油のあいつのちよつと力を借りた。

松：あの醤油さ、ちよつと。

松：いいつすよ。

松：いいつすよ。

松：あれ近藤さん、あれいいすよね？はい、ちよつと。

松：やった。あの醤油すごい興味ある。

松：正直あれ結構、リクエスト食材って言われて、したんですけど、なかなか売ってないみたいで。

松：そうなんだ。

松：あのこれ、ロンちゃんにちなみにこれどちらまで行ったんすか。白河まで？須賀川まで？じゃあちよつと重いんですけど。

松：ありがとうございます。

松：パッケージの色と衣装が響き合ってる。

松：ほんとだ。

松：ヤマボシ醤油を持って様々な表情でボーシング（スクショタイム）。

松：ヤマボシ醤油とロンちゃん（笑）。びっくりしてるでしょ。うね、ヤマボシ醤油の人。ここまでロンちゃんが。



ごちそうさまでした。お二人とも美味しかったです。

松：ヤマボシってヤマは山でしょ？ボシは？スター？

松：カタカナでしたね。うん。

松：よし、大丈夫かな。スクショタイムね。

松：ごちそうさまでした。お二人とも美味しかったです。

松：ありがとうございます。ぜひみなさんもね、後々もし発表できる限りレシピのほうは。

松：レシピは発表しましょう。

松：もしよかったら試してみてください。

松：ありがとうございます。ぜひみなさんもね、後々もし発表できる限りレシピのほうは。

松：レシピは発表しましょう。

松：もしよかったら試してみてください。

## 全部1回ごとにMC入れながら

## 怒涛の15曲

松：じゃあ今12時34分になりましたので。この番組プログラムは一応2時までになりますから、少しこう腹ごなしにというか、食休み、食べてください。歌うつうのもあれでしょ？

松：歌えますよ。

松：歌えます？（笑）

松：（笑）

松：何言ってるんですか。そんな大した歌じゃないんですよ。

松：じゃあ怒涛の15曲。全部1回ごとにMC入れながらお願いいたします。じゃあ好き好き

松：今日一応あの、どんだけ続くんだったって思うのいやだと思ってる。一応セトリも用意しておりますんで。

松：はは（笑）。あ、セトリが配られるんだ、関係者の。すごいなでもセトリ先に言うライブっていうのは新しいね。

松：そうですね。

松：たまにほら、でもなんか芸能系のライブ行くと、ゲスト席

松：知らない歌あるでしょう。

松：うん。しかももうなんかタイトルだけでなんかすごいやつばキヤッチーですね。

松：タイトルがやっぱり大事で。やっぱりあのギターウルフ先輩の感じですね。ギターウルフ先輩もやっぱり、タイトルできたら8割できたようなんだったって。

松：（笑）

松：いいね。

松：それ結構でも笑いながらその記事見てたんだけど、実際自分で作ってみると、それはあるなという時は全然あるっていう。

松：なんかこの8曲目とか俺もすごいもう。

松：これは7、8つてこれアリスじゃない？これ。アリス先輩の感じ。運うかな。

松：ちよつとそうすかね。なんかイメージ的には近いかもしれない。

松：だってあの谷村新司さんの発声法で歌う歌あるもんね。

松：ありますね、はい。（ギターを弾き始める）ああ〜ねえ、始めます？

松：始めます？

松：やりますか。

松：知らないよ。笑いな飯じゃないよ。笑いな飯

松：（笑）

### ロンちゃんお手製

### サッポロ一番 山茂登風

用意するもの（1人前）

サッポロ一番（醤油味）……1袋 生卵……1つ  
納豆……1パック チューブにんにく……大さじ1〜2杯

- 1 鍋にお湯(500cc)を沸かす
- 2 あらかじめお湯などで丼を温めておく
- 3 温めた丼に納豆を1パック入れて混ぜる
- 4 混ぜた納豆の丼に生卵とチューブにんにくを入れて混ぜる
- 5 沸いた鍋のお湯に麺を入れて2分茹でる
- 6 鍋の火を止めて、サッポロ一番の粉スープの素と納豆付属のタレを入れて混ぜる
- 7 鍋のスープだけを、納豆が入った丼に注ぎ、スープと納豆を混ぜ合わせる
- 8 混ぜ合わさったら麺を入れる

召し上がれ♡



松：うん、もう良きところで。僕はらほもう。

松：今何人ぐらい見えます？

松：796人。

松：すごい増えましたね。

松：800人。

松：王貞治のホームランみたいな感じになってきた。

松：790いくつってことは最初ほら、僕が入ってきた時が500とかだった？ね。それぐらいだから、200人ぐらい僕のこと誰かわかってない人がいる可能性が、あるなあと。

松：あ〜そうかそうか。

松：どうやって画面で見てる、なんかあれ？って。なんかお笑い芸人出てるんじゃないの？っていう思う人いるんじゃないかな。

松：これもう始まっている、始まっている。始まっている。

松：あの〜あれ？あの人M1で見たことあるみたいなふう

松：に思ってる人がね、いるんじゃないかと思うんですよ。

松：ええ〜違います。

松：僕

松：は

松：笑

松：い

松：飯

松：じ

松：や

松：り

松：ま

松：す

松：か

松：な

松：い

松：や

松：り

松：ま

松：す

松：か

松：な

# 「ブルマンマン…」

のドラマだよ TOSHIIE LOWの後ろでドコドコ叩いてる RONZIEっていうんだよ

いや本当よく間違えられるのね。  
藤:(笑)

ロ:うん。違うんですね。ええとね、そう。一応もう1回紹介しておきますね。ええと、BRAHMANとかOAUっていうバンドでね。ドラム叩いてるRONZIEと申します。よろしくお願ひします。

## まだ対面はしてないの?!

松:ちなみにそのええと西田さん、西田さんでしたっけ、その方にその話ってなんかいつてたりするんですか? ロンちゃん。  
ロ:わかんない。  
箭:まだ対面はしてないの?西田さんと。

ロ:したことないんですよ。もう1人ドラマーでほう、BOBOっているでしょ?

あいつはすごい似てるって言われて、会ってるんだけど、俺はまだちよつとのけ者にされてるのね。

松:BOBOくんも笑い飯と。ロ:そうそう。だからこの間もほら、「マツコの知らない世界」出たでしょ。で、結構ね3人の顔が並んでTwitterに上がってたね。うん。

松:BOBOさん含めて。  
ロ:BOBO、西田、RONZIE。  
松:へえー!  
ロ:そう。3人も同い年だしね。うん。

松:あ、それはすごいすね。3人で集まる機会があったら、ちよつと。

ロ:ドッペルゲンガーでなんか、ドッペルゲンガー3人集まると爆笑しちゃうって聞いた。た。

一同:(笑)  
ロ:その可能性があるから。  
松:ちよつとじゃあそれは覚悟を決めて(笑)。  
ロ:で、Twitterとかで結構その時上げてくれてるか

ら、トレンド入ったのよ。トレンドで、ROONZIE I、RONZIE。カタカナでロンジとか、ロンちゃん。BRAHMANとかも入って。で、なぜか笑い飯もトレンド入ってたの。

♪僕は笑い飯じゃないよ笑い飯じゃないよ BRAHMANのドラマだよ TOSHIIE LOWの後ろでドコドコ叩いてる RONZIEっていうんだよ

この間ね、職質されたんだよ。町歩いてて職務質問。  
松:あら。結構ありますよね。

## この間ね、職質されたんだよ

ロ:でまあ急いでただけで、まああの警察、タタッて来て。「すみません。ちよつとい

いですが「まあしょうがないじゃないですか」「なんですか」「って聞いたら、「荷物の中ちよつと見せてもらってもいいですか」その時リュック背負ってたんだけど。で、やっべーって。ちよつとね、見られたくないものが入ってたの。これやっべえなって思って、その時この衣装が



ね、リュックに入ってたから。

一同:(笑)  
藤:それはちよつとヤバイ(笑)。  
松:ちよつといろいろ誤解をね。

ロ:見られたら完全に不審者だから、やべーなと思って。でもまあしょうがないから見てくださって言ったら、やっべーな案の定、「あれ?これ何ですか?」って。

一同:(笑)  
ロ:で、俺の顔を見て、「あ、お笑い芸人の!」

♪僕は笑い飯じゃないよ笑い飯じゃないよ BRAHMANのドラマだよ TOSHIIE LOWの後ろでドコドコ叩いてる RONZIEっていうんだよ

一同:(笑)

ロ:今、コロナ大変でしょう? 一同:(笑)

ロ:この世の中で。ここはまあほら、仕切つてあるからあれだけ。スタッフの方もみんなマスクして。これやっべえマスクすごい大事なもんでき。コロナの感染の予防の為にね、すごいやっべえ大事なもんなんだよね、うん。コロナはまあ予防するのでもあるんだけど、なんか意外なものも予防できたみたい。あのほら、インフルエンザが流行らなかつたんですよ。

一同:(頷く)  
ロ:コロナの予防だと思ってマスクしてたら、インフルエンザの予防にもなったつって。そのほら、アメリカとかでさ、そのワクチンの接種が済んだから外出してじゃあもうマスク取っちゃおうよみたいな言ったら、またなんだっけ。あのデルタ株って



笑いが絶えないロンちゃんのライブ

## この濃さで15曲いくんですね

## 「じゃ、どいっつう聴き方が正解なの」

♪僕は笑い飯じゃないよ笑い飯じゃないよ BRAHMANのドラマだよ TOSHIIE LOWの後ろでドコドコ叩いてる RONZIEっていうんだよ

ロ:(松田に向かつて)お前さ、なんか俺のことニヤニヤして見ているけどさ、心の中でさ、このクソバカ本当笑い飯にそっくりだよなあって、思ってるだろう?

♪僕は笑い飯じゃないよ笑い飯じゃないよ BRAHMANのドラマだよ TOSHIIE LOWの後ろでドコドコ叩いてる RONZIEっていうんだよ

♪僕は笑い飯じゃないよ笑い飯じゃないよ BRAHMANのドラマだよ TOSHIIE LOWの後ろでドコドコ叩いてる RONZIEっていうんだよ

一同:(拍手)  
ロ:はい!ラーメンつけ麺僕ブラフ麺!幡ヶ谷のラーメンアイ

も含めて。

松:これはほんとに。ロ:あの、そういう批評はいいです。

箭:ははははは(笑)。  
ロ:これさ、アルバムの1曲目なんだけど、アルバムの1曲はまあ違うネタで入ってるけどさ、結構言われるんだけど、ライブ録音だと思ってる人がいるのよ。

松:あゝはいはい。  
ロ:結構そのライブばく録ってるんだけど、これ完全にスタジオ録音で。スタジオで録って、フリー素材の笑い声とか拍手とかを足すっていう作業で作って。アルバムの中でね、一番時間がかかったっていう曲ですね。5時間ぐらいかけてね。

藤:(笑)  
ロ:大作なんで。

箭:長いほうなの、短いほうなの?

松:いや結構かかるなって。歌録って音入れるっていう意味だけで言うと、結構。

ロ:だから、これはそういう気持ちでちよつとね。みなさんに聴いてもらいたいなと思ひまして。はい。それが「ブラフマン...」という曲でした。ありがとうございます。

箭:この濃さで15曲いくんですね。  
藤:ははははは(笑)。  
ロ:そうですね。これがたぶん一番長いっすから。

「自由にしてください」

ロ:あ、俺にとつてマスクってというのは、西田に間違われな

いたための予防効果もあった

一同:(笑)  
ロ:自由ね、はい(笑)。いや、すごい完成度だね、これ。語り



箭：(笑)  
ロ：「ブラフマン」のコーナーだけで長い時に20分以上やってんすよ。

一同：(笑)  
ロ：ただ、今日はまだみんな、軽症な方です。まだ大丈夫です。松：大体、序盤のほうに入れたりする？

ロ：これはもうしょっぱな出てきてから。  
松：あと、どあたまとか。  
ロ：ドカンとなったり、ほんと

ロ：はい、はい。ええ、風とロック

## 笑顔が見たいんじゃない

### 「Smile for me」

ク芋煮会のYouTubeを見ているみなさん、ね。好き好きロンちゃんがね、みんなに笑われるためにここにおります。はい、ぜひあの苦笑いでね、楽しんでください。

♪「Smile for me」  
ロ：ありがとうございます。  
一同：(拍手)

箭：かわいい歌だよ。  
ロ：かわいいですか。  
箭：うん。

シーンってなったり。なかなか大変なんです。はい、じゃ次の曲いきましようね。

松：いきましよう。  
ロ：はい。次はねえ、「Smile for me」。

ロ：はい。次はねえ、「Smile for me」。

ロ：はい。はい。ええ、風とロック

松：すごい進行が切ない。コード進行が切ないっていう笑。

箭：あれすごいね。ドドドドドッて。

ロ：そうですね？そう。見せるのも入れたほうが、弾き語りっていうんだらうなと思って。

## やっぱり見たい

ロ：この曲で何が言いたかったというの、あの、ね。みんなの笑顔が見たくて、こう好き好きロンちゃんを笑っても

らって、笑顔が見たいんだよっていうことじゃなくて。そう、本当は乳首もちょっぴり見たいけどそれはちょっと置いといて。置いといてって言うけど、本当はやっぱ乳首が見たいんだよ。っていうことが言いたい。

松：置いてはいるけども。  
ロ：男つてさ、なんかあんまり正直になれなかったりする？

松：まあそうすね。  
ロ：そうそう。なんかか言っても「ああウソウソ！冗談」みたいな。そういうイメージで乳首が見たいっていうそういう歌でした。

松：わりと本性の。  
ロ：その、なんだろうな、男の照れくささというの、そういうところだね。「乳首見たいな」を「笑顔見たい」でちょっとオブラートで包んで、みたいな、そういう歌ですね。

箭：その両論をね、併記しながらひとつの曲にまとめるって、意外と誰もやってなかったことだと思っくんですね。どちらかで歌うじゃない。

松：ああ、そうですね。  
箭：本音だけで歌うか、建前だけで歌うか。建前がある

ロ：そうですね。美味しいって言うてますしね。  
一同：(笑)  
松：まあたしかに。

箭：たしかにカツ丼ってどこで食べても同じ味だかっていうか、安定感はある。アベレージ感あるね。

松：カツ、トンカツになると、まあたぶんいろいろその揚げ方とかあるのかもしれないけど、煮込んでご飯と合体した瞬間に、結構どこで食べても美味しい感じはあるかなと個人的には思います。

ロ：そうかも。藤井ちゃんもそう思ってくれるよな。  
藤：なんか、(ロンちゃんが)ボブ・ディランに見えてきて。好きでした。

ロ：そうなんだよ。すごい結構。  
箭：(笑)  
ロ：そういう感じ。怒られるかもしれないから、それはやめる。

一同：(笑)  
ロ：それはやめよう。  
松：いいいっすね。

ロ：はい。  
松：ライブだとこういう合間とかは、どういいう感じなんですか？みんな。

ロ：ライブね、結構最近やってる

## モンキーズのカバー

### 「RONZOR」

ことの本音がより刺さるというか。それがやっぱりね、BRAMHMANとOAUを越えてる部分なんです。松：全くその通りですね。

ロ：ははは(笑)。びっくりしたのが、同じドラマーで比べるのもあれですけど、めちゃくちゃギターが上手いっていう(笑)。  
箭：そうなの。

ロ：俺、上手くないよ(笑)。なかなか(弦を)押さえられないです、ちゃんと。ギタリストが見るとわかると思います。

松：そうなんです。松：そうすね。じゃあ次いきますか(笑)。  
ロ：ありがとうございます！

ロ：次はね、「RONZOR」のテーマ「RONZOR」のテーマ  
一同：(拍手)

ロ：ありがとうございます。  
松：いいですね。またちょっと晴れ  
ライプは対バン多くて。持ち時間30分ぐらいだから、もうどんどんやっちゃう。早口でちょっとテンポを上げたりとかして。  
松：ははは(笑)。いいすね。  
ロ：詰め込みたいから。はい。で、次ね、次はね、ネーとね「キラキラソング」っていう曲なんだけど。これはね、大事なもののについて歌ってる曲なんです。みんなそれぞれ大事なものがあって、それぞれ大事なものってなんか持つてると思っくんすよ。

松：はい。  
ロ：例えば箭内さんだったら、福島であったり風とロックであったり。で、これたぶん大事なものでないですか。藤井ちゃんにしてみたら、ライブの時のお酒とかね。すごく大事なものでしょう？

箭&藤：(笑)  
ロ：お金とかがね、やっぱり松田にとつて大事なものであるから。金とか権力とかそういうのがやっぱり、大事なもんじゃないですか。

松：(首を傾げながら)そうすね(笑)。  
ロ：そうなの？

ロ：いや違う、違う(笑)。俺だけだそんなんか急に。まあ、まあ。

ロ：ごめんね(笑)。  
松：(笑)

ロ：そうね、ラーメン大使のねあれとかね。すごい大事なものでないですか。そういう大事なものを歌った歌で、大事なものっていうのは本当に一番大事な

のつていうのは実はすごく身近にあつて。でも気付きづらいもので。そう。で、それに気が付くか気付かないかというところが結構人生を左右することもある。みんなそういうね、身近な大事なものを大切にしているんじゃないかっていう、そういう歌です。松：素晴らしいです。ロ：はい。聞いてください。「キラ

## 実はカツ丼が好きだ

松：この一番最後の「実はカツ丼が一番好きだ」っていうところが、やっぱりラーメンアイドルロンちゃんとして、ラーメンが一番好きじゃないかっていうふうに伝わってしまっているところもあるかもしれないけど、実は一番好きなのはカツ丼です。ね。



「そこがやっぱ大爆笑ポイントだよ」

ロ：そう。そこがやっぱ大爆笑ポイントだよ。うん。  
松：ああ、ラーメンじゃなかったのかい！っていう(笑)。最初僕もそれを聞いた時にびくつきりして、もう崩れ落ちましたもん。あれ？こんなにラーメン食ってるのに。

箭：その話はよく聞くし理にかなつて、カツ丼はどこで食べても、味が美味しさが安定しているからだと言つて。

ラーメンは、不味いラーメンもあるじゃないか。だからそういう理由はずいぶんわかんなく思つて。だから、一番美味しいラーメンと一番不味いカツ丼だったら、一番美味しいラーメンが勝つよな？

ロ：そうですね。すごい結構。  
箭：(笑)  
ロ：そういう感じ。怒られるかもしれないから、それはやめる。

一同：(笑)  
ロ：それはやめよう。  
松：いいいっすね。

ロ：はい。  
松：ライブだとこういう合間とかは、どういいう感じなんですか？みんな。

ロ：ライブね、結構最近やってる



別に音楽って悲しいことも歌えば、苦しいこととか怒りも歌うわけじゃないですか

キラソング」。

♪「キラキラソング」

（ロンちゃんの歌い出しで笑う松田）

ロ：ありがとうございます。

一同：（拍手）

松：素晴らしい。わかりますね。

ロ：わかるよね。

松：わかります。

### 一緒に走ってくれる

ロ：なんか、何気なくいてくれるんだけど、実は共にいつも歩んでいるというか。

松：ほんとだね。

松：そうですね。

ロ：自分が走る時は、ヤツもやっぱり一緒に走ってくれるんだよね。

松：揺れますし。

ロ：そのなの。

松：寒い時は寒がるしね。

ロ：そう。暑い時はへたばるしね。

松：そう、へたばる。

ロ：いつでもやっぱり一緒にいてくれる。

松：大事なものです。

ロ：大事なもの。そう。そういう

なんだから、やっぱりいつもいる仲間みたいなことだよな。

松：大事なもの。そう。そういう

さTOSHIE LOWとかが

炎上したの。「タイムマーズの

テーマ」を現代風にちよつと

歌詞をアレンジして歌った

ら、もう何、まあやっぱり音

楽に政治を持ち込むなとか、

なんか死者に対する冒瀆だ

とか。

松：えー。

ロ：なんか、全然すごく俺は意

志を受け継いでやってるん

じゃないかって思ってる。で、い

ろいろさ記事を見てると、

エセタイムマーズがやっている

時に、もう客はドン引きだっ

たみたいになぶりに記事で書

いてあるんだけど、ドン引き

だつてなんでわかるんだろ

うっていう。俺は見ただけ



「キラキラソング」を笑顔で聴く松田

きました（笑）。

松：（顔を合わせた）はははは（笑）。

松：（ここでは）酒はね基本的に

はまああんまり。うん。

ロ：あんまりそのシラフで聴く

もんじゃないんだよね。

一同：（笑）

ロ：お酒が入ってくるとね、ちよ

うどいいんだけどね。

松：いやいや。

松：聴くもってかシラフで歌っ

てるんだもんね、そりゃ。

ロ：そうなんすよ。そう。曲を作

る時もシラフで考えてるか

らね。

松：子供好きそうじゃないです

か？今の。

松：子供好きかね？子供ね、結

構そうだね。なんかね、4歳

ぐらいの子が大体ね、好き好

きロンちゃん好きでいてく

れる。

松：キンタマ、キンタマ言いたい

時期ありますもんね。

ロ：あるよね。女の子とも言っ

てくれるから。

松：あ、そうなんすか。

ロ：だから親は困るよね。やっぱ

りね。

松：まあでも正しい性教育に繋

がるかもね。

ロ：ちょっとずつ慣らしてくの

にはいいかもしれないです

ね。

松：そうですね。

ロ：うん。そういうんだつたっ

け？

一同：（笑）

松：ロンちゃんのこの、MCみ

たいなこれ、なんていうジャ

ンルなのかね？会話してる

ように音楽の一部になって

るっていう。これいいね。上

手い！

松：1人の時は客席に投げかけ

る感じで話して、曲いくみ

たいな感じですか？

ロ：そういうのさ、言うのやめた

ほうがいいよ。

松：（笑）

松：やめます、はい。

ロ：うん、あんまりね。

松：いいね。

松：やりましょ。

ロ：はい。

松：これ出せばよかった、ちよう

ど。（ローテーブルにあるマ

リモ感のある置物2つを持

ち上げる）

### 社会派コーナーを

#### 始めます

ロ：あ、ほんとだね。次からはねえ、

社会派コーナーにいきます。

松：そういうコーナーもあるん

ですね。

ロ：そうですね。社会派コーナー。

最近さ、なんかほら、よく音

楽に政治を持ち込むみた

いな、聞かない？

松：ありますあります。聞きま

すね。

ロ：あれどうかと思うの。その

さ、もちろんね。ほら、楽しい

こととか音楽で歌うって楽

しいけど、別に音楽って悲し

いことも歌えば、苦しいこと

とか怒りも歌うわけじゃな

いんですか。ねえ。政治を持

込むってどういうことか

なって思ってる。そう。政治の

ことこそ歌いたっていう

時だつてあるし、ね。そう。ほ

らこの前もさ、フジロックで



終始笑いが絶えない

## 5 オブライトにした激しい怒り 「ブンブン（人類みな兄弟）」

ロ：振り付けがあるので、もし途中

でこうかなと思つたら一緒

にやつてもらえとありがたい

です。ちよつとあの速弾

きから始まるから。ちよつと

弾けないかもしれない

ですけど。ちよつとあの失敗

したらごめんささい。やり直

します。いきます。

（弾き始めるロンちゃん）

ロ：もう1回やりませ。

♪「ブンブン（人類みな兄弟）」

一同：（拍手）

松：いい歌だね。

ロ：社会派だつたでしょ。

松：うん。

ロ：そうなんだよね。

松：これでもオリジナルに聞こ

える、やっぱり仕上がり

なってますね。

ロ：ほんとですか。ね。（わらべの）

「めだかの兄妹」だから、これ

は（笑）。

松：やっぱそれは聞こえてきま

したけど、でもブンブンって

いう感じがいいですね。かわ



箭内「チャーミングな異の唄え方なんだよ、これがね」



□：次はね、また新たなその他のゾーンですよ。あのさ、ちよっと、金玉とかさ。

松：ああそっか。

□：そつじうの多すぎなかったですか？

松：まあわりとサビになると金玉「ん」が。

□：ちよっと多いかなと思って。ちよっと、ねえ？今ちよっと

「うね、景色綺麗なんだね。そんな感じで綺麗な歌もね、歌ってみたいなと思って。」

松：そつじうのもあるんですけど、綺麗な曲を歌ってみようと思います。はい。

松：全部綺麗だけだね。

松：うん。

□：ええ〜じゃあ聞いてください。「そよ風そよそよ」。

松：「そよ風そよそよ」

松：「そよ風そよそよ」

松：「そよ風そよそよ」

松：「そよ風そよそよ」

「そよ風そよそよ」

□：ね。ちよつと今日のこの天気にできた。

松：いいね。

松：あの繰り返し言葉で、いろいろ表現があるんだと、すげーなんか勉強させられながら聴いてました。

□：そんなね、真面目に答えていただけるとありがたいです(笑)。

松：なんかね、いやこれは普通の歌詞って言ったら言い方変ですけど、我慢してる時の歌詞が、俺はすげーグッとくる歌詞だなんて思いながら聞いてて。

松：もちろん我慢できなかったところも、こうロンちゃんのをね。

松：あつこはでも悪いとこだよ、あつこね、うん。

松：悪くない、悪くない。

松：「チャーシューももも」ってきたからね、あれが。

松：あとはその、「たゆたゆ」ってこの人はこれ、そんじやそこの人じゃ。

□：「たゆたゆ」ってすごいいい表現だよ。

松：いい表現ですよ。「金玉たゆたゆ」これはそんじやそこの人が。

松：そんじや(笑)。

松：「金玉たゆたゆ」ですよ。

松：俺も結構気に入ってる表現で。ちよつと宮沢賢治くらの、ね？

松：いやいやいや、それは正直ありますよ。いや俺本当に。なんか、すげーな。

松：結局ね、ロンちゃんってこう、なんだろうな。外側内側じゃないけど、こういうところにいるいる歌ってたのが、今これちよつと真ん中にこう、ひゅつとこう、寄ってきたじゃん。絶対やんないと思いつつ、ロンちゃんに普通の歌書いてって言ったら、すごいいいの書けると思う。

松：すげーいい曲。俺は。

松：普通の。でも書かないと思う。

松：そつです。

松：でも本当に普通の曲。

松：できないんだよね。

松：いやだって普通、途中まで普通で来ちゃってたじゃん今。うん、だからもう。

松：振りだと思ってもつとできるんですかね。

松：なんだろうね。

松：いや、我慢できないんだよね。

松：はははは(笑)。

松：ほんとに普通、普通のねレコード大賞みたいなのが書けると思う。ロンちゃん。

松：すげえ真実をいやまあ言うのやめましよう。

松：松(笑)。

松：気分はいいけど(笑)。

松：これちよつと片鱗を見せちゃった。

松：俺はね、その前の歌詞のあの、壁をすりすべによる…ええ〜すみません。壁を滑り落ちるっていう表現ってなかなか想像しないと、俺できない、できないですよ。壁を滑るって。

松：そだね。ちよつとやっぱ文学的なのは出ちゃってるよね。

松：出ますね。

松：わかるわ。

松：そつちは結構我慢汁っぽく出てるな。(言った後に口を押さえて笑う)



「我慢できないんだよね」

松：そこちよつと俺もグツときましたけど。

松：「ふとした瞬間」ってさ、言葉聞いてさ、思い浮かぶ曲ない？ ZARDの「負けないで」。

松：ああ、ふとした瞬間に、うんうん。

松：ふとした瞬間に、うんうん。

松：「ふとした瞬間」で、何してんだろうと思う「で、負けそうさ走れるかな」ってのはその、「負けないで最後まで走り抜けて」っていうのの、対するちよつと返事っていうか、応援してくれてるんだけど、俺大丈夫かな？っていう問いかけもね、入っているんですよ。

松：ヤバイ、ヤバイですよ。ヤバいとこまで来てますね。

松：ZARDです(笑)。

松：ZARDです。

松：最後もう走ってますもんね。

松：そう、そうだね。最後のあの叫びは、カワマルリュウイチです。河村隆一風の叫び。

一同(笑)

松：ちよつと入れたいなと思って。

松：たしかにLUNA SEAの



箭内「ほら名曲ができちゃってるでしょ」

さあ、泣きながら笑う可能性もあるんじゃない？

松：そつなのかなあ。

松：どうなんだろう。

松：それはさ、やっぱ他人の子供だからなんじゃないの？

一同(笑)

松：自分の子供がこれだったら嫌なんじゃない？

松：たしかに。

松：だって、こういうことをやりそうなロンちゃんっていう部分も含めて、愛してんじやないの。

松：そつなのかなあ。

松：わかんない。厳しい家庭だったの？しつつけ。

松：まあわりとしつつけはちゃんとしてる家庭で、そうすね。

松：だつてRONZIEってすごくちゃんとした名前だもんね。本名は違うけどね。

松：そうすね。

松：あの字はさ、すごく、すごい真面目な思いを託した名前だよ。

松：そつすね、たぶん。

松：これはちよつと切ない。

松：この切ないっていうか、なんか胸が痛いというか。締め付けられるんですよ。

でさるんですけどもね。(笑)

松：CD買ってください。

松：サブスクとかで一応聴けるけど。まあそんなでほら、我慢できないね、僕なんですけど。あの、そつ。反省しなきゃいけないことがやっぱいっぱいあって。好き好きロンちゃんを親に内緒でやってるの。

松：ああ、うん。

松：言えないんですよ。オジサンになつてさ。今もこの格好をして。

松：言ってるないの。

松：うん言ってるない。ね。で、変な下ネタの歌を歌ってます。

松：片鱗隠しきれてないよ、今。

松：もう切ないですね。

松：本当に。

松：なかなか。

松：なかなか切ない、これは。自分に置き換えて想像しても、なかなかちよつと、やっぱ胸に。

松：何だつたら親に言えないのかつてさBRAMANなら大丈夫でロンちゃんならダメなのかつてこでもないよ、ね、本当は。

松：うん。

松：あの、お父さんお母さんだからこそ、これ見たらさ、渡辺俊美のお父さんみたいにな

松：もう〜これは苦しいですね、胸が苦しい。

松：もう〜これは苦しいですね、胸が苦しい。

「ごめんね両親」

松：ありがと〜ございます。

一同(拍手)

松：ほら名曲ができちゃってるでしょ、こうやって。

松：もう〜これは苦しいですね、胸が苦しい。

「ごめんね両親」

松：片鱗隠しきれてないよ、今。

松：まあそんなでほら、我慢できないね、僕なんですけど。あの、そつ。反省しなきゃいけないことがやっぱいっぱいあって。好き好きロンちゃんを親に内緒でやってるの。

松：ああ、うん。

松：言えないんですよ。オジサンになつてさ。今もこの格好をして。

松：言ってるないの。

松：うん言ってるない。ね。で、変な下ネタの歌を歌ってます。

松：片鱗隠しきれてないよ、今。

松：もう切ないですね。

松：本当に。

松：なかなか。

松：なかなか切ない、これは。自分に置き換えて想像しても、なかなかちよつと、やっぱ胸に。

松：何だつたら親に言えないのかつてさBRAMANなら大丈夫でロンちゃんならダメなのかつてこでもないよ、ね、本当は。

松：うん。

松：あの、お父さんお母さんだからこそ、これ見たらさ、渡辺俊美のお父さんみたいにな





♪「Ronzi's Home」

♪「Welcome to Ronzi's Home」

一同：(拍手)

ロ：ありがとうございます！  
じゃあこのまま最後の曲  
いっちゃいましょうかね。い  
きますよ。はい、それでは聴  
いてください。「好き好きロ  
ンちゃん」！

♪「好き好きロンちゃん」

ロ：ありがとうございます！  
箭：ありがとうございます！

一同：(拍手)

ロ：はい！ラーメン、つけ麺、ほ  
くブラフ麺！幡ヶ谷のラー  
メンアイドル好き好きロン  
ちゃんことRONZIIでし  
た！せーの、ロンちゃん！  
ありがとうございます！

一同：(拍手)

### 15曲めりがとびつぎました

## 「好き好きロンちゃん」

15

ロ：ありがとうございます。  
箭：いや～ありがとうございますま  
した。

ロ：ありがとうございます、  
長々と。

松：楽しかったです。

箭：これで新幹線乗ったらい  
けどね、このまま。さすがに  
ね。

ロ：そうですね。

箭：カマチがニコニコして聴い  
てるのがいいですね。

松：(笑)

箭：何百回聴いたかわかんない

んだらうに(笑)。ニコニコし  
て。

松：や～楽しいですね。

箭：本当にありがとうございますま  
す。

ロ：ありがとうございます。

松：音源聴かせてもらいます。あ  
りがとうございます。

箭：まだ、まだニク残ってる  
ね、なんかね。ニンニクの幸  
せな感じが。だからあの口の  
中が残ったまま、この15曲聴  
いたのすこいよかった。

藤&松：(頷く)

箭：はい、この後はロンちゃん、  
この番組、「風とロックと好  
き好きロンちゃん」終わり  
で、VTRにも芋煮会ソング  
集「風とロック芋煮会ソ  
ング集」。そして、中テレ「ゴジ  
てれChu」で生出演、は  
い。好き好きロンちゃん、し  
た！ありがとうございます！  
した！

ロ：好き好きロンちゃん  
藤：藤井敬之(音速ライン)  
松：松田晋二(THE BACK  
HORN)  
箭：箭内道彦(風とロック)

一同：(拍手)  
(手を振りながら立ち去るロン  
ちゃん)

箭：じゃあ、どうしようか？この  
ままいきますようか。VTR  
いきます。はい。



ロンちゃんありがとうございました